

ほけんだより



令和4年9月27日

陽北中学校

No.6

大切な性のはなし～性教育講演会～

宇都宮市で行っている事業のひとつとして、「性教育サポート事業」があり、市内の全中学校に講師として産婦人科医師を招き、毎年3年生を対象に講話をしていただいています。今年は9月16日に産婦人科医の田中光臣先生に講演をしていただきました。テレビ放送で行いましたが、みな真剣に話を聞いて、自分のこととして考えることができたようです。

《内容》

① 性に関する相談 友だちが一番多い

- ・ 正確な知識をもって友だちの相談に乗れるように

② 女性のからだ、男性のからだ

- ・ 体のしくみと悩み、受診が必要な場合について

③ 性感染症（STD）について

- ・ 種類、症状、治療、将来への影響
- ・ 女性は産婦人科、男性は泌尿器科へ



④ 妊娠と出産について

- ・ 妊娠のしくみについて 図を用いての説明
- ・ 10代の妊娠 出産 心身への負担、産み育てていけるか

⑤ 人工妊娠中絶とは

- ・ 栃木県の現状 **H12に全国ワースト1**
- ・ 将来の妊娠出産への影響 心に深い悲しみ



⑥ 避妊について

- ・ 避妊の種類
- ・ **確実な避妊は産み育てられるようになるまで性交しないこと**

⑦ 男女交際・恋愛について 信頼や思いやりが大切

- ・ 同意のない行為はデートDVや犯罪

裏面に続く⇒

《感想や意見》

- 性についてのことを大体は知っていたつもりだったが、意外と知らなかったことが多く（避妊のことなど）、自分の思い込みを反省するきっかけになった。今回学んだことを将来活用していきたい。
- 望まない妊娠は自分にも赤ちゃんにも良くないことだし、周りにも迷惑がかかるからしっかり産んで育てる覚悟ができてからちゃんと考えようと思いました。
- もっと女性に気を使ってあげなければと思った。
- 性というものは一人ひとりの理解によって危ないものになったり、命を育むことに繋がるものだとなった。また、今回の性の講話を聞いて、今後の自分に生かしていこうと思った。
- 栃木県が性教育指導を開始するまで、中絶回数全国一位を取り続けていたのに指導を始めてから順位が低くなっていったのを知り、性教育指導の大切さを実感した。
- 性感染症や10代の中絶の実態など、様々なことが分かりました。関係のないことかもしれませんが、最初の方に出できたメールの内容で「自分が一番の理解者になれるように」という言葉が心に残りました。
- これまで自分で思っていたよりも性についての知識がそこまで身につけていないことに気付かされました。今日の講話で新たに知った正しい知識をしっかりと活用し、男性と女性の両方が暮らしやすいようにしていく必要があると思いました。
- 勇気や優しさを持てるように頑張りたいです。



《もっと知りたいこと》

今回の講演会は中学生にとって大切な性についてのことを、まんべんなく丁寧にお話しいただきました。生徒が「**もっと知りたいこと**」として、**性感染症・避妊・男女交際・性暴力**についてなどがあげられています。今後、これらのことや**LGBTQ(SOGI)などについて**、数回に分けてほげんだよりで掲載していく予定です。